

国内投資拡大のための官民連携フォーラム資料

資料6

“次世代の農業ビジネス”とは？

設備投資と、さらなるアグリソリューション

2023年10月4日

株式会社舞台ファーム 代表取締役社長 針生信夫



# 未来の美味しいを創る。

01 持続可能な食と農を目指す



02 日本農業の新しい未来を創る

03 食糧危機へ最先端技術を駆使する





「農業会社」からの脱却＝“安定的”に食料を供給できる企業へ



農家

農業会社

食料供給企業

舞台ファーム 美里グリーンベース



- 場所： 宮城県美里町中埜
- 大きさ： 建屋5.1ha/敷地7.6ha
- 竣工： 2021年10月
- 総工費：約34億円  
(産地パワーアップ助成金を活用＝約14億円)
- 能力： 1日約40,000株のレタスを生産可能



- ☆日本最大級の葉物(レタス)生産工場
- ☆太陽光・LED併用。播種～栽培を自動化
- ☆環境型植物工場＝「地球を冷やす工場」
- ☆周辺農業者を取り纏め、コメも輸出(年230t)



3 日本各地に同様の植物工場をさらに建設へ

南棚塩ラック式カントリーエレベーター



- 場所： 福島県浪江町南棚塩
- 大きさ： 建屋0.4ha/敷地1.0ha
- 竣工： 2021年10月
- 総工費：約30億円  
(加速化交付金にて建設。舞台Fが管理運営)
- 能力： 年間約300ha分の乾燥調製が可能



- ☆日本最大級のラック式乾燥調製施設
- ☆福島県沿岸エリアの営農再開を支援
- ☆自社・連携農家含約150ha農地を再開
- ☆東京農大と連携→新たな価値を創造



復興のフラグシップ＝営農再開面積拡大へ





持続可能な社会変革(SX)を目指し、私たちは「食と農」を追求します!

■日本最大級最新鋭植物工場  
「美里グリーンベース」  
(宮城県美里町)

■福島県沿岸部営農再開支援  
コメ作連携、カントリー運営  
(南相馬市・浪江町・双葉町)

■食卓イノベーション研究会  
広域型農業者連携組織

■エネルギー変換農業推進  
地域脱炭素の取り組み

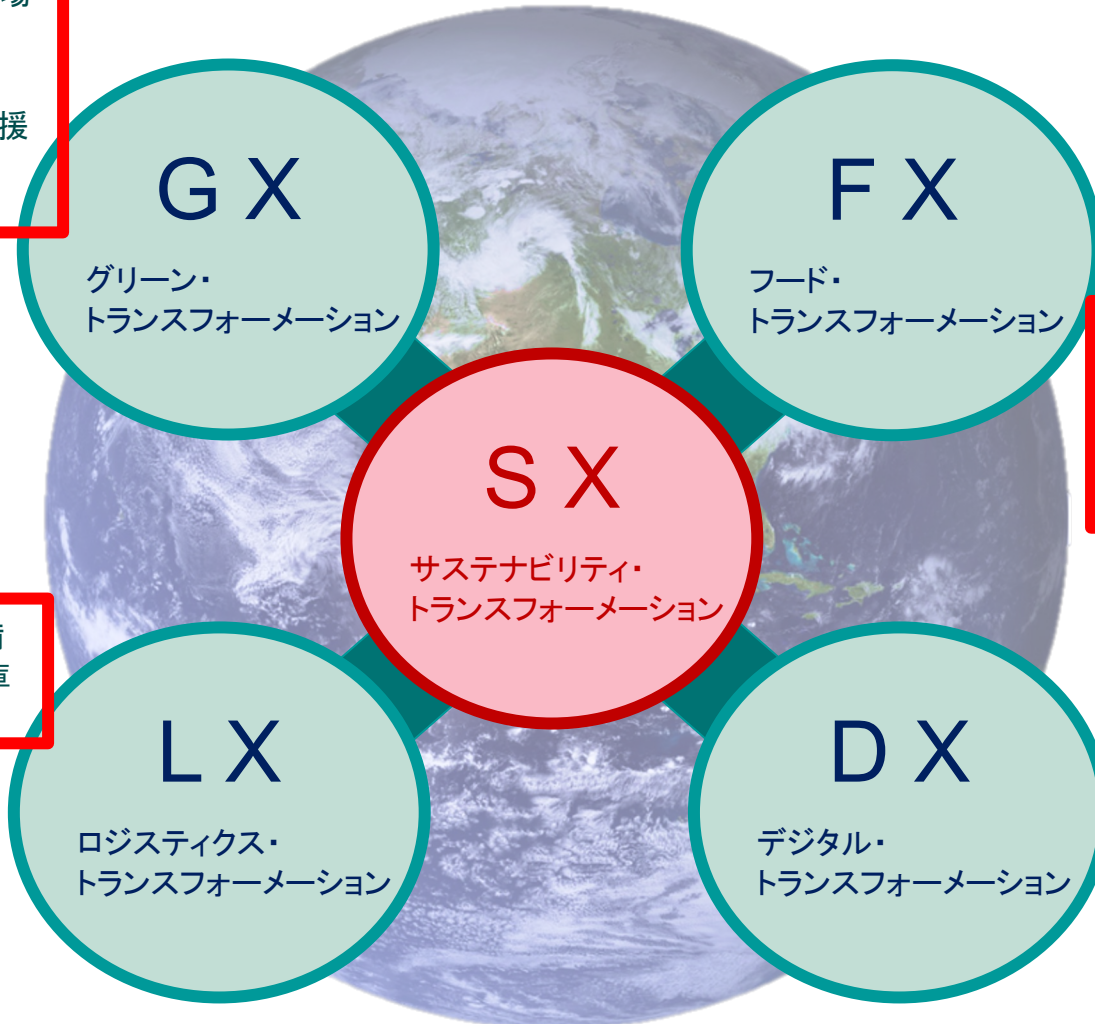
■粍穀革命  
シリカ・バイオ炭・バイオプラ

■地域農業者集荷・倉庫設備  
コメ検査設備・野菜予冷倉庫  
(茨城県境町) R6年3月竣工

■シン農業公社構想  
(肥料・農機具連携)

■複合型物流連携  
(自社物流・物流会社連携)

■ローカルフードプロジェクト  
(東北を元気にプロジェクト)



■鮮度革命商品開発  
つみたてサラダ等

■アグリメディカル事業  
医食同源と健康

■鮮度延長・品位向上技術

■最新鋭加工設備の整備  
原菜殺菌・カット野菜・  
冷凍技術開発  
(福島県南相馬市)  
R8年3月竣工へ調整中

■舞台栽培システム  
栽培手法のデジタル化

■生成AIの農業導入  
栽培管理のAI化

■大学連携による、  
「農業知」の蓄積  
土壌・根の共同研究等  
(東北大学・ナノテラス)

## 個々への分散型助成ではなく、 「成長志向を持つ中堅企業」への集中支援

- ・ 農業助成の多様化: 小規模農家メインの助成だけではなく、農業会社や新規参入企業も活用しやすい多様な助成を。
- ・ 助成金の制限解除: 規模・期間・汎用性ほか、柔軟な助成制度へ転換。資材高騰や24年問題等で工期が長引くケース増。
- ・ 設備補助率の差別化: 未来牽引企業や実績企業への設備補助率拡大。例)「補助率 通常1/2→牽引企業は4/5」等
- ・ 実需者連携施設助成: 「生・販連携施設」への設備投資助成を拡大。生産者と実需者の直接的ネットワークを拡大→継続。